

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度本明川水系排水施設操作水位等検討業務
業 務 概 要	本業務は、本明川水系における現在の河道整備状況を踏まえ、排水機場の運転調整及び退避水位の検討を行うものである。また、河川現況台帳のデジタル化に向けた検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 長崎河川国道事務所長 大場 慎治 長崎市宿町316-1
契 約 年 月 日	令和 5年10月 2日
契 約 業 者 名	(株) 東京建設コンサルタント
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契 約 金 額	11,000,000円(税込み)
予 定 価 格	11,000,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	長崎県諫早市
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年10月 3日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月15日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度本明川水系排水施設操作水位等検討業務
2. 履行場所 長崎県諫早市
3. 契約の相手方 住 所：福岡市博多区博多駅南2丁目12番3号
会社名：(株)東京建設コンサルタント 九州支社
電 話：(092)432-8000
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的・内容

本業務は、本明川水系における現在の河道整備状況を踏まえ、排水機場の運転調整及び退避水位の検討を行うものである。また、河川現況台帳のデジタル化に向けた検討を行うものである。

2) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

長崎河川国道事務所 河川管理課長